

2019年1月31日

各 位

**イーピーエス株式会社、国際共同治験実施時のIRT/RTSM ベンダーとして、  
4G Clinicalを選定**

**WELLESLEY, Mass., January 30, 2019 /PRNewswire/** - イーピーエス株式会社（以下、EPS）は、最先端の無作為化および治験薬供給管理（RTSM）システムを提供している4G Clinical（以下、4G）との戦略的提携しました。

EPSの代表取締役社長 安藤 秀高は、  
「国際共同治験を実施する際のRTSMベンダーとして、4Gを選定できたことを大変嬉しく思います。4Gの最先端技術、開発スピード、柔軟性を併せ持つRTSMソリューションに感銘を受けるとともに、この提携がEPSのグローバル展開に寄与する事を確信しています」と述べています。

EPSは、約30年にわたり臨床試験における無作為化サービスを提供してきました。この経験と、4Gが持つ最先端の技術を組み合わせることにより、更なる業務品質向上と効率化に寄与して行きます。

4Gの最高経営責任者（CEO）であるDavid Kelleherは、  
「このパートナーシップは、試験の実施方法に良い影響を与えるという相互のコミットメントに則っており、我々は、世界中のスポンサー、研究者、そして患者により良いサービスを提供するために日本で最も評判の良いCROと協業できることを嬉しく思います。」と述べています。

4G-EPSの提携は、東京オフィスの立ち上げを含む4Gの世界的な拡大計画に則っており、大切な薬を必要としている人々により早く届けるという彼らの使命をサポートしています。



## イーピーエス株式会社

1991年の設立以来、EPSは、ほぼ全ての疾患領域にわたり包括的なサービスを提供し続け、現在では従業員数2,000人を超える企業に成長している。医薬品開発のベストパートナーとして、同社は医薬品業界から高く評価され続けており、医薬品ライフサイクルの様々なフェーズ（開発治験から製販後/安全性監視まで）をカバーしている。

EPSは、EPSグループのコア企業としてCROを担っている。EPSグループは創設以来、医薬品開発にかかわる業務を中心として一貫して健康産業の発展に貢献し、発展してきました。CRO事業、SMO事業、CSO事業を中心として事業の多様化や中国をはじめとしたグローバル展開を進め、企業規模も年々拡大し2018年9月末現在で従業員数約5,700人を有している。EPSホールディングス株式会社の詳細な情報は<https://www.eps-holdings.co.jp/>を参照。

イーピーエス株式会社の詳細な情報は<https://www.eps.co.jp/ja/index.html>を参照。

## 4G Clinical

4Gは、世界のライフサイエンス業界向けの無作為化および治験薬供給管理（RTSM）におけるリーダーであり、自然言語処理（NLP）と統合された供給予測を利用した、唯一の完全にクラウドベースの100%設定可能で柔軟なソリューションを提供する。4G Clinicalは、マサチューセッツ州ウェルズリーのボストン・バイオテック・コリダに本社を置き、欧州およびアジアにオフィスを構えている。詳細な情報は[www.4gclinical.com](http://www.4gclinical.com)を参照。

CRO：CRO（Contract Research Organization：開発業務受託機関）

医薬品の開発において、製薬企業等の治験に係わる業務の一部を受託または代行する個人または組織・団体。主な業務内容として、治験のモニタリング・監査、データマネジメント・統計解析等がある。

SMO：SMO（Site Management Organization：治験施設支援機関）

特定の医療機関（治験実施施設）と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関（通常は企業のこと）です。CROと異なり、医療機関（治験実施施設）側の立場で業務を行うのが特徴で、医療機関の治験業務を支援する企業と言えます。

CSO：CSO（Contract Sales Organization：医薬品販売業務受託機関）

製薬企業に代り、営業・マーケティング業務（MR業務）を受託または代行する個人または組織・団体で、MR（医薬情報担当者）が医療機関に対し医薬品の効能・効果・副作用情報等の適正使用情報を提供・収集する。

以 上